

グラウンド・ゴルフ交流会に67人 元気はつらつと腕前競い合う

狙いを定めて「入れっ」——。10月14日、陸中青少年の家(佐々木賢治^{けんじ}所長)が主催する第60回マリナランド陸中杯グラウンド・ゴルフ交流会が開かれ、初会場となった船越家族旅行村の水辺公園に町内外から67人が集まりました。参加者らは秋晴れの中、元気はつらつと合計16ホールを回り、腕前を競い合いました。この日、町内で活動をする船越クラブの方々も参加。同クラブの山崎勝英^{かつせい}さん(84)は「芝生の凹凸に苦戦を強いられましたがそれも楽しかったです」と感想を話していました。



巽^{のり} 佐々木会長が県知事表彰 会員の交流の場づくりに尽力

令和3年度岩手県社会福祉事業功労者表彰で、田の浜老人クラブ会長の佐々木茂男^{しげお}さん(88)が、岩手県知事表彰を受賞し、10月10日に田の浜コミュニティセンターで表彰状の伝達が行われました。平成16年9月に同クラブの会長に就任し、会員同士の交流の場づくりなどに尽力された佐々木さん。平成21年4月からは山田町老人クラブ連合会副会長を兼務し、同会の育成指導にも力を注いできました。「今後も会のために与えられた職務をまっとうしたいです」と気持ちを新たにしています。

「わらびの会」でイモ掘り会 今年は「でっかく」育ったよ

10月10日、轟木地区教育振興運動実践協議会「わらびの会」(臼澤文男^{ぶんお}会長)は、轟木・織笠地区の児童6人とイモ掘り会を行いました。この日収穫したのは、6月に参加者らが自ら旧轟木小学校地内に苗植えたサツマイモで、シャベルで優しく土をかき出し、大きく育った紅色のイモが次々と顔をのぞかせると、児童たちは「でっかいのが獲れた」と大歓声。昨年も参加したという芳賀杏朱^{あんじゅ}さん(11)は「今年は大きいサツマイモがたくさん獲れてうれしいです」と大喜びでした。



豊間根小5年生が稲刈り体験 額に汗にじませ収穫作業

10月4日、豊間根小学校(門田徹^{とほる}校長、児童126人)の5年生21人は、稲の刈り取り作業に取り組みました。稲作体験の一環で、5月に自ら手植えをした地元農家の水田で行われたもので、稲は穂が大きく垂れるほどたわわに実り作柄は上々。児童たちは農家の指導の下、額に汗をにじませながら手鎌で根元を刈り取り、一束一束にくる作業に挑戦していました。参加した木村優花^{ゆうか}さんは「初めての稲刈りで大変でしたが、精米して家族に食べさせたいです」と大きな収穫に笑みを浮かべていました。



町のわだい

今月の題字 芳賀 啓人君 (豊間根小3年)



第37回町スポ少野球新人大会 団結見せ攻守ともに好プレー

第37回山田町スポーツ少年団野球新人大会が9月26日、町民総合運動公園野球場で開かれました。コロナ禍で十分な練習も行えない状況で迎えた大会でしたが、出場したオール豊間根野球スポーツ少年団と山田野球スポーツ少年団の選手らは、声を掛け合いながら団結し攻守ともに好プレーを見せていました。結果はオール豊間根野球スポーツ少年団が優勝。個人賞には、同団から最優秀選手賞に瀬川琥樹君(10)、打撃賞に芳賀莉凰麗さん(10)、山田野球スポーツ少年団からは、優秀選手賞に戸塚蒼空君(11)、敢闘賞に佐藤然君(10)がそれぞれ選ばれました。



県学童大会で上位入賞 山田小相撲クラブが団体準優勝

10月17日に町相撲場で開かれた第43回岩手県学童相撲大会で団体戦初出場の山田小学校相撲クラブが準優勝、個人戦でも6人が上位入賞する活躍を見せました。今大会が最後の試合となった稲川颯介君(6年)は「優勝できず悔しいです。卒業後も相撲を続け力士になりたいです」と闘志を燃やしていました。大会には県内6市町から約50人が参加し熱戦を展開しました。

◆個人入賞者▶男子1・2年の部2位…田代啓人▶同3年の部2位…佐藤大斗▶同4年の部2位…織笠克樹、3位…伊藤佑功▶同5年の部3位…豊間根拓夢▶同6年の部2位…稲川颯介(敬称略)



山田小学校相撲クラブの皆さん